

WEBマーケティングおすすめツール4選

本日はセミナーにご参加いただき
ありがとうございます

- 12:45にセミナーを開始いたします
- マイクをオフにさせて頂いております。周囲で音がしてもセミナーには影響ありませんので、ご安心下さい
- ぜひ、メモをご用意ください



あきばれホームページ

WEBマーケティングおすすめツール4選

株式会社WEBマーケティング総合研究所

2022/02/10

本日の目次

1. セミナーのゴール
2. ホームページで成果を出すためには
3. 解析ツールのご紹介
4. 具体的な使い方
5. まとめ



1. セミナーのゴール

本日のセミナーのゴール

- ホームページで成果を出すための、改善点を見つけられるようになる



2. ホームページで成果を出すためには

作りっぱなしではだめ！

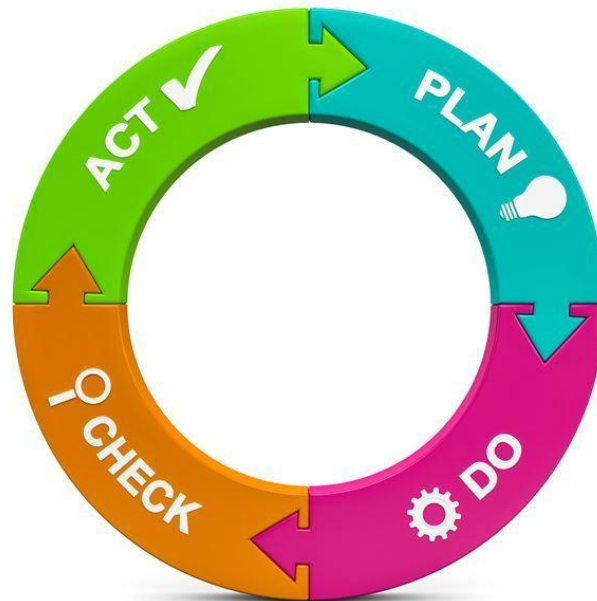
ホームページは1度作ったら終わりではなく、何度も改善をし続けて初めて成果が出るものです。

作った後に、作ったページがどうだったのか確認を行ったり、改善をしていかないと、いざ蓋を明けてみたら「たくさんページを作ったのに全然アクセスがふえていなかった！」ということになりかねません。

PDCAを回すことが大切

PDCAとは

1. Plan(計画を立てる)
2. Do(実行)
3. Check(評価)
4. Act(改善)



の4段階を繰り返すことで物事を改善していく手法です。

ホームページにおけるPDCAの考え方

弊社でご提案しているPDCAの回し方は、1ヶ月単位で以下の4段階を繰り返す方法です

1. Plan(1ヶ月の目標と目標を達成するための施策を立てる)
2. Do(ホームページを更新する)
3. Check(ホームページの状態を確認する)
4. Act(確認した結果を元に、次の月の目標と施策を立てる)

の4段階を繰り返すことで物事を改善していく手法です。

本日は「Check」するためのツールをご紹介します。

[▶詳しくはこちら](#)

3. 解析ツールのご紹介

おすすめ解析ツール4選

無料ですぐに導入・使用できるツールのみに厳選しました。

1. Googleアナリティクス
2. GoogleSearch Console
3. ヒートマップ (UserHeat)
4. ページスピードインサイト

ではそれぞれ、どのような時に使えばいいのでしょうか。

4. 具体的な使い方

1.Googleアナリティクスを使ったほうが良い状況

アクセスはあるが、お問い合わせにつながっていない

→ユーザーがどこで離脱しているかがわかります

具体的な画面をお見せする前に、用語の解説をいたします。

- セッション: サイトにアクセスした回数
- ユニークユーザー: サイトにアクセスしたユーザーの数
- ページビュー数: サイト内のページが閲覧された回数
- 直帰率: 1ページしか見ないでサイト離れた場合の%



1.Googleアナリティクスを使ったほうが良い状況

例えば

一人のユーザーが1回サイトに訪れて、トップページだけ見た。

1時間後に再び、サイトに訪れて2ページ見た。

上記の場合、

- ・ページビュー:3回
- ・セッション:2回
- ・ユニークユーザー:1人

2.Search Consoleを使ったほうが良い状況

アクセスが少ない

→アクセスが少ない原因を知ることができます

原因としては

- クリック率が悪い
- 検索結果に狙っているキーワードで表示されていない
- 検索結果の順位が低い

では、実際のSearch Consoleの画面をみてみます

3.ヒートマップを使ったほうが良い状況

- アクセスはあるが、お問い合わせにつながっていない、ユーザーの離脱箇所はわかったが、なぜ離脱したかわからない
- 直帰率が高い
 - 離脱された原因を探すことができます

では、実際のヒートマップ (UserHeat) の画面をみてみます

4. ページスピードインサイトを使ったほうが良い状況

直帰率が高い、検索順位が良くない

→ページの読み込み速度により、コンテンツは良いが離脱されている、もしくは評価が低い可能性があります。ページスピードインサイトで調べることで、読み込み速度が原因かどうか判断できます。

では、実際にページスピードインサイトを使ってみます

5. まとめ

まとめ

- ホームページは1度作ったら終わりではなく、何度も改善をし続けて初めて成果が出る
- 解析ツールを使って原因を特定し改善していく



ご清聴いただきありがとうございました

来週も、木曜日の12:45～13:30を予定しています

次回: **Googleアナリティクス**で出来ること